

## 第 58 回定時株主総会 開催概要



- 
- 開催日 : 2018 年 6 月 27 日 (水)
  - 開催場所 : 神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「偕楽の間」
  - 開始時刻 : 10 時 00 分
  - 終了時刻 : 11 時 17 分
  - 出席株主数 : 333 名
- 

### 質疑応答

#### Q1 株式を特別口座で所有することについて

A. 株主様お取り扱いの証券会社とご相談の上、株主様のご判断にお任せします。

#### Q2 主婦や子供に対する食育活動の内容について

A. 黒豆の作付・収穫・料理教室と、畑から食卓までの一連の流れを体験いただく親子食育イベント、株主様対象の料理教室を開催し、昆布だしに関する料理等のテーマを取り上げています。また、工場見学は地元の小学校等から随時受け入れています。取り組みについては、弊社ホームページ上に掲載しています。

#### Q3 カスピ海ヨーグルトの神戸のホテルへの採用交渉について

A. 神戸に限らず大都市圏のホテル等への採用交渉は継続して実施しており、実際に採用されているホテルもあります。地元神戸のホテルへの採用はわずかであり、引き続き営業に注力します。

#### Q4 資本準備金をその他資本剰余金へ振り替える意味について

A. 資本準備金の増減には株主総会決議が必要ですが、その他資本剰余金の増減であれば取締役会決議により機動的、柔軟的に対応することが可能となります。

Q5 女性の社内取締役の実現見込みについて

A. 取締役ではありませんが、女性の執行役員を2017年4月から1名登用しています。

商品開発に携わる従業員の約半分は女性であり、女性の声を反映した商品開発を実施していますが、女性管理職比率は2.2%に留まっております。現在、ダイバーシティ推進室が中心となり女性のキャリアアップ支援に取り組んでいます。

Q6 営業利益率の減少理由と今後の改善策について

A. 営業利益率が減少した主な理由は、①人件費、②減価償却費、③エネルギー費用の増加です。人件費の主な増加要因は、人手が多くかかる日配惣菜が伸長したことによるものです。

Q7 特別損失の内訳と今後の見込みについて

A. 特別損失は、主に和田山工場 旧塩こんぶ棟の解体費用及びベスタデリ事業の撤退にかかる減損損失を計上しました。

2018年度は、現段階では特別損失の計上を見込んでおりません。

Q8 株主優待品ランクの細分化について

A. 株主優待を実施する目的は、弊社製品を知ってもらうことでファンになってもらい、株主数を増やすことです。弊社は株主還元として配当を重視しており、現段階では株主優待制度の内容について変更は考えていませんのでご理解いただきますようお願いいたします。

Q9 海外に向けた事業の現状と今後の展開について

A. 日本の人口が減少し、消費量が減少することは大きなリスクと考えています。新商品の開発に注力し、日本国内で更なるシェアアップに向け取り組むとともに、まだ公表できる段階にはありませんが、東南アジアで事業進出を視野に入れて海外事業を推進しています。海外事業については、①国内製品の輸出販売、②原材料の輸入(香港富吉高貿易有限公司との連携)、③事業進出の3つの施策を取っています。

以上